保育目標 心身ともに健やかでいきいきと遊ぶ。

項目	重点項目	達成目標・具体的施策	年度末評価
学びの場である保育の充実	「愛情」を基盤とした自己肯定感の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ありのままの姿を受け止め、個々の育ちに寄り添う丁寧な関わり方や環境づくりについて職員間で月に2回、語り合いの場を設け子ども理解を深める。 ・語り合いのメンバー構成を工夫し、様々な立場の職員間で多面的に捉え、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人をよく観察し、思いや要求を汲み取りながら愛情深く関わり、自己肯定感や基本的信頼感が育まれるように意識している。 ・iPadを活用することで、職員同士で子どもの姿をより深く共有する機会となっている。保護者へ写真、動画の配信を引き続き行い、育ちの共有理解に努めたい。
	資質・能力を育む保育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の振り返りの時間を毎日15分確保し、担当職員や担任間で共有し保育環境に繋げる。 ・幼児・乳児会議において視点を意識した語り合いを月に2回以上行う。 ・視点で読み取った子どもの姿を保護者に写真や動画で配信し、子どもの学びを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日15分程度、読み取りや保育内容の振り返りの時間を持つことで子どもの姿の語り合いをリアルタイムで行えた。遊びのタイミングを逃さず環境構成に活かしていきたい。 ・クラス担任間での読み取りを行っているが、他学年の職員を交えた読み取りの時間の確保や場の持ち方に工夫が必要である。他学年の職員との語り合いの機会を増やし多面的に子どもの姿を捉えられるように職員間の連携をもち、取り組んでいきたい。
	ちがいを認め合える仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢・同年齢などの様々な人との生活の中で、個々の「好き」興味、関心や育ちを認め合ったり、気づきを発信する。また、そのことを職員間で共有する語り合いの場を設け、人とのつながりを深める。(月に1回以上) ・保護者アンケートにおいて、「お子さんの様子から見て園生活全般について」おおむね満足していると回答した人の割合が80%以上になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児期は、探索活動を十分に行える保育環境を整え、子どもの気持ちを優先し、満足感が感じられるように関わりながら、一人一人の子どもの良さや違いを認め、職員間での共有を意識して保育を行った。 ・一人一人の子どもの「好き」な物や遊びを認め、環境に取り入れることで、お互いの「好きなこと」を子ども同士で共有したり、遊びを広げるきっかけとなり人とのつながりを学んでいる姿が多く見られた。 ・保護者アンケート結果において、園生活全般について、おおむね満足していると回答した結果が90%に達していた。今後も、保育所生活の中で人との関わりについて学び、認め合える保育を継続していきたい。
保育者の資質向上	職員研修・園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議を含む職員全体の話し合いを月に2回もち、色々な職員間での語り合いを行い共有する。 ・各担当の保育内容や研修内容のテーマを絞り、計画的にその月の語り合いへつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議を月2回行い、語り合いの場を設けることが出来たが、話し合いたいテーマについての、提案や絞り込みができていない時があった。視点を明確にし、職員間での語り合いに取り組みたい。 ・他園園内研修で学んだ知識を写真などを用いて、分かりやすく伝達し、環境構成など、即実践してきた。
	チーム保育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの一員として自分の意見を言ったり、聴き合える場の雰囲気づくりを心掛け職員間での語り合いをもつ。(月に2回) ・週一回、乳児・幼児会議を持ち、クラスを越えた職員間で「子どものため」に取り組む意識を高める話し合いの内容や方向性を押さえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や語り合いの時間をつくったことで環境構成のアイデアや子どもの育ち、情報を得やすくなった。 ・自分が学んだことや気づきについての発信や共有が薄い時もあったので、研修などで得た学びを実践報告へと繋げられるように一人一人が意識を持ちお互いの学びを深めていきたい。 ・語り合いが持ちにくい朝夕の職員は、子どもの情報共有など伝達ノートや会議録で周知した。
	小学校教育との接続	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児は週一回、5領域をもとに10の姿の観点を年間通じて保護者に伝える。(個人連絡ノートを月に1回) ・乳児期から小学校生活にスムーズに移行し、身につけた力を十分に発揮していけるように「10の姿」の視点で、職員間で読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児期から日常生活のなかで、10の姿を意識し自己肯定感の基礎を丁寧に育み要録の作成を行った。 ・幼小接続の研修に参加し、理解を深めているが、実際に近隣の小学校へ保育の情報提供ができていなかった。自園での園内研修の案内や保育内容の配信などを工夫し子どもの学びの情報共有に繋がる取り組みを考えていきたい。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練年間計画表を作成し、毎月1回以上、避難訓練を実施する。 ・災害発生時の待機中に必要となる備品や備蓄品を用意し、年1回点検している。 ・毎月1回保育所、こども園、児童発達支援センターの担当者が集まり、リスク担当者会を開催し、各園のリスク事案について共有し再発防止に努めている。 ・リスク担当者会で検討し、作成した各種マニュアルを全園(保育所、こども園、児童発達支援センター)で共通理解し、安全・安心な園生活を送れるよう職員一同努めている。 		